

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 1日

事業所名 デイサービスセンターはっこう

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		プレイエリア・テレビエリア・指導訓練室等バランス良く活動を取り組んでいる。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	エリア変更	適切な配置ではあるが、多いにこしたことはない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		段差がある場所については、マットを敷くなど工夫している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0		日々の朝会やデイ会議で支援等を振り返り、意見を出し合っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		保護者向けの評価表を配布し、意見等があれば対策を検討し、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		結果をまとめ次第、会議・ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		第三者の外部評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		業務に影響のない研修があれば、希望者を募り参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		保護者の要望を聞き、計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		保護者や関係機関から情報提供をしてもらっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		ケース担当が主に行い、場合によってはチームで話し合い、その日のプログラムを決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		ルーティンにならないよう、プログラムを組み換え行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3		平日・休日・長期休暇を意識して設定はしていないが回数は増やしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		集団活動はそれほど多くは取り入れていない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0		朝礼で毎朝行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		帰りの送迎後、特記事項や支援について話し合いを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2		日々のケース記録の内容が薄い。何ができたのか、できなかったのか記載が必要。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		年2回モニタリングを行い、その段階で計画も見直している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	0		複数組み合わせ合わせて行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		児発管・ケース担当が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		学校への送迎時や電話等で、情報共有・連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4		該当なし。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		児発等から新規利用者が来た場合、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0		移行先事業所への情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		今年度は新型コロナウイルス感染防止のためできていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		機会があれば参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		送迎時や面談等で相談援助等を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		保護者から要望があれば家庭での対応方法のアドバイスをしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		送迎・面談・連絡ノート等で相談があった際はアドバイスしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2		検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		苦情になる前に、保護者と話し合い解決している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		定期的に発行している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		配慮している。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		今年度は新型コロナウイルス感染防止のためイベントは中止のため参加していない。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		整備している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		医師の指示書はないが、アレルギーが入っているものは食べないようにしている。また、保護者から情報提供してもらっている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		アクシデント・インシデントはファイリングし情報共有している。	